

診療所 探訪

IT活用で患者の利便性向上 子どもケアにも注力

医療法人健究社 スマイル眼科クリニック

理事長：楊浩勇
院長：岡野敬
住所：神奈川県横浜市青葉区青葉台1-6-12 カンゼムビル4階
TEL：045-988-4912
受付時間：平日、土 11:00~13:45、15:00~19:00
日、祝日 11:00~13:45、15:00~18:30
休診日：水曜
URL：<http://www.smile-eye.com/index.htm>



大型モニターが並ぶスマイル眼科クリニック内

東急田園都市線青葉台駅から徒歩1分のビル4階にあるスマイル眼科クリニック。院内に入るとまず感じるのは、およそ45平方メートルという待合室の広さだ。アニメを観たり、絵本が読める小さな子ども用のキッズルームも併設している。同院は土日祝日も診療しており、救急患者も受け入れている。そのため、車いすの患者でも利用しやすいように、院内は段差のないバリアフリー設計となっている。

受付の上部に巨大モニターが1台、診察室へ続く通路側面にも大型モニター2台が設置されている。これらはパソコンで一元管理されており、患者の待ち時間や診察室の案内、環境ビデオなどが交互に表示されている。クリニックは2001年のオープンで今年10周年を迎えた。当初からパソコンや携帯電話から来院予約ができるシステムを導入しており、当時はかなり珍しかったという。現在では予約システムはもちろんだが、過去のデータを基に、各曜日の時間に応じた予想混み具合も表示される。診察時もパソコンモニターに治療前と治療後の患部写真を写し、患者自身が状態の変化を感じられるよう配慮するなど通院者の利便性を高めるためにITをフル活用している。

クリニックの特徴として、高齢者はもちろんだが、子どもの眼科ケアにも力を入れている。「15歳以下の患者がおよそ3割を占める」（岡野敬院長）と他院と比べて割合は高い。大人と違い、小さな子どもにとっては視力検査でさえ負担になる。そのため、視力回復のための矯正訓練を行ったり、必要な検査を行う専門の視能訓練士にも週3回大学病院から来てもらい、丁寧な対応をしているという。

岡野院長は「患者のためにできることはできるだけやる」を診療方針としている。クリニックで対応できないことがあっても、近隣の大学病院や検査機関と連携を

取り合っており、すぐに必要な精密検査ができるほか、場合によってはさまざまな大学の専門医を紹介する。医師が他の医師や病院を患者に紹介する場合、どうしても自分の出身大学の関係者に偏る傾向があると言うが、「そんなことは患者には関係ないこと」と気にしない。また、眼科クリニックでは珍しく、点滴や血圧、採血の設備もそろえている。これもわざわざそれだけのために他の診療所や病院に行く必要がないようにしたためだ。

診療科目は眼科全般で、眼鏡やコンタクトレンズの処方も行っている。合わないコンタクトレンズで目の病気に掛かり、最悪失明する危険のある患者も増えているという。「その人の目のサイズや水分量、アレルギーをきちんと判断してコンタクトは処方すべき。何でも患者の希望に合わせるのではなく、ダメな物はダメと言う」と岡野医師。

現在、大学病院がマンパワー不足で、救急患者の受け入れをしない傾向が強まっている。同院では、急患にもある程度対応できる設備をそろえている。レーザーを照射して3Dで目の断面を診断できるOCT（光干渉断層計）などだ。常勤医師は基本的に岡野院長のみであり、確かに負担は大きい。しかし「分担できるところは分担しないとほかの病院も回っていかない。患者のニーズに応えたいし、ここに来たからには元気になってほしい」と話す。

現在、クリニック同階の一室が空いたため、診療スペースを拡充する方針を立てている。そこでは主に眼科の予防医療を手掛けていくという。例えば子どもの近視を予防する場合には生活習慣から変えていく必要がある。大人と子どもは違うとはっきり意識させ、何に気をつけるべきか指導していく。即効性のある治療ではないが、「すべては患者のため」の信念を持ち続け、取り組んでいく考えだ。